

【 報告案件 】

報番号	件名、提出理由及び主な内容等
報第52号	件名:歯と口腔の健康づくりの推進に関する施策の実施状況について
	<提出理由> 令和4年度及び令和5年度の歯と口腔の健康づくりの推進に関する施策の実施状況について、熊本市歯と口腔の健康づくり推進条例（令和2年条例第35号）第10条第2項の規定に基づき、市議会に報告するもの。 <主な内容> 歯と口腔の健康づくりの推進に関する施策の実施状況に係る令和4年度の実施結果及び令和5年度の実施内容について報告する。

歯と口腔の健康づくりの推進に関する 施策の実施状況（報告）

令和5年度

熊本市

1 各ライフステージにおける対策の推進

(1) 胎児期・妊娠期及び乳幼児期

ア 令和4年度の取組結果等

口腔の健康を通して健やかな妊娠生活を支援するとともに、乳幼児の歯と口腔の健やかな発達と楽しい育児を支援するため、主に次の取組を実施した。

取組名	取組内容及び取組結果等	
妊婦歯科健診・相談事業（直営）	内容	母子健康手帳交付時に、歯科健診・歯科健康相談を実施する。
	結果	・実施回数：498回 ・受診者数：1,688人
妊婦歯科健診・相談事業（委託）	内容	母子健康手帳交付時に歯科健診ができなかった妊婦に対して、受診券を発行し、歯科医療機関で歯科健診・歯科健康相談を実施する。
	結果	受診者数：1,592人
1歳6か月児歯科健診・フッ化物体験塗布	内容	1歳6か月児健診において歯科健診・歯科健康相談を実施する。また、希望者には、フッ化物体験塗布を実施する。
	結果	・歯科健診 実施回数：254回 受診者数：6,429人 ・フッ化物体験塗布 実施者数：5,892人
3歳児歯科健診	内容	3歳児健診において歯科健診・歯科健康相談を実施する。
	結果	・実施回数：231回 ・受診者数：6,670人
歯科健康教育	内容	子育てサークル等において、むし歯予防講話等を実施する。 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、動画の二次元コードを掲載したリーフレットを活用して口腔衛生の大切さについて啓発を行う。
	結果	・実施回数：80回 ・参加組数：586組
歯科健康相談	内容	区役所や子育てサークル等において、歯科健康相談を実施する。
	結果	・妊産婦

		実施回数：１０２回 相談者数：１１２人 ・乳幼児 実施回数：１６４回 相談者数：３７６人
フッ化物洗口 支援事業	内容	フッ化物洗口の実施を希望する保育所等に対して、洗口剤等を配布するとともに、円滑な実施に係る技術支援を行う。
	結果	実施施設数：１０９施設（うち新規実施５施設） ※認可外施設を含む。
保育所等における 歯科健康教育	内容	保育所等において、幼児、保護者等を対象に、歯科講話、歯磨き指導等を実施する。
	結果	・実施施設数：９０施設 ・実施回数：９４回 ・参加者数：４，１０５人
乳幼児ママ・ パパ教室	内容	育児サークル等において、歯科医師等を招いて教室を実施する。
	結果	・実施回数：６回 ・参加組数：２６組
保育所等における 歯科健康診断	内容	保育所等において、園歯科医師による歯科健診を実施する。
	結果	実施施設数：２１４施設

※ 令和４年度決算額

子育て世代包括支援センター運営経費 ６７，４８４千円

妊婦歯科健診経費 ３，５６６千円

幼児健診経費 ３６，５７５千円

公立保育園嘱託歯科医手当 ２，１９７千円

公立幼稚園歯科医報酬 １，０５９千円

保育所等フッ化物洗口事業 ９０７千円

イ 令和５年度の実施内容

令和４年度の実施事業に加え、以下の実施を実施する。

- (ア) 親子でかかりつけ歯科医をもつことにつなげるため、令和５年度からの妊婦歯科健診を委託のみに変更する。また、妊婦歯科健診受診率向上のため、産科医療機関に対してポスターの掲示と妊婦へのリーフレットの配布を依頼する。

(イ) こどものむし歯有病状況の改善を図るため、「こどものフッ化物塗布事業」を開始する。

※ 令和5年度予算額

子育て世代包括支援センター運営経費 58,870千円

妊婦歯科健診経費 14,000千円

幼児健診経費 65,162千円

公立保育園嘱託歯科医手当 2,197千円

公立幼稚園歯科医報酬 1,059千円

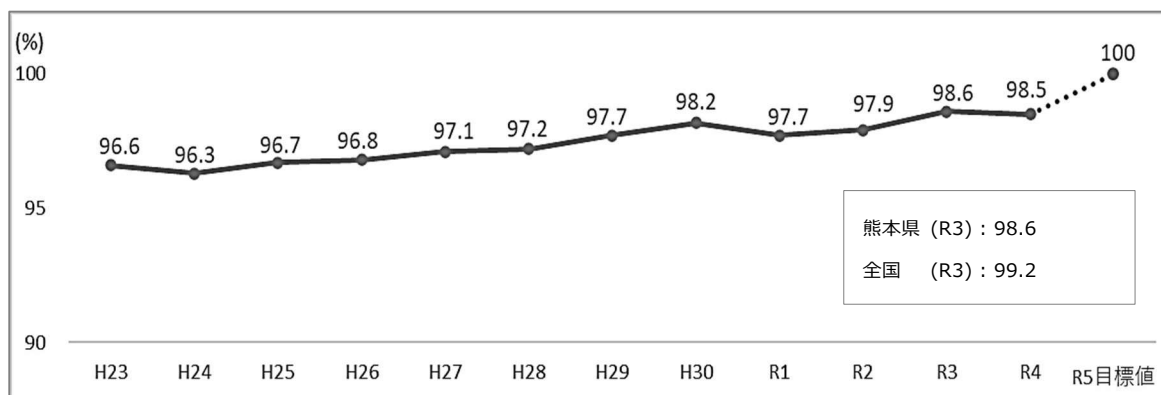
保育所等フッ化物洗口事業 876千円

こどものフッ化物塗布事業 9,600千円

ウ 成果指標

1歳6か月児でのむし歯のない者の増加

平成23年度 基準値	令和4年度 実績値	令和5年度 目標値
96.6%	98.5%	100%

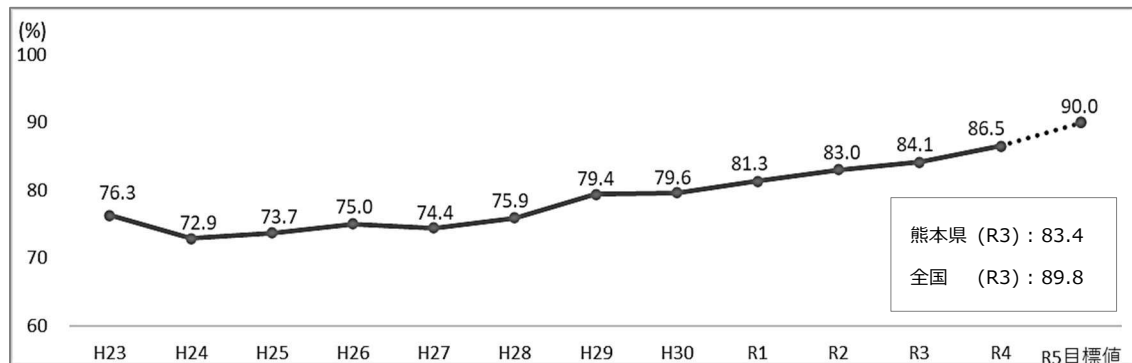


出典：【熊本市】1歳6か月児歯科健診

【熊本県・全国】熊本県歯科保健状況調査

3歳児でのむし歯のない者の増加

平成23年度 基準値	令和4年度 実績値	令和5年度 目標値
76.3%	86.5%	90.0%



出典：【熊本市】3歳児歯科健診

【熊本県・全国】熊本県歯科保健状況調査

(2) 学童期及び中・高生期

ア 令和4年度の実施結果等

学童期の乳歯と永久歯の生え変わりが始まる時期に、自分の口にあった歯磨き習慣を身に付け、むし歯や歯肉炎のない楽しい学校生活ができるよう支援するとともに、生活習慣の改善によりむし歯や歯肉炎を減少させることができる中高生が増加するよう支援するために、主に次の取組を実施した。

取組名	取組内容及び取組結果等	
小中学生に対する歯科健康教育	内容	小中学生を対象としたむし歯や歯肉炎の予防等の講話や歯磨き指導を実施する。
	結果	・実施校数：84校（うち小学校82校、中学校2校） ・実施回数：105回（うち小学校103回、中学校2回） ・参加者数：10,091人（うち小学生9,860人、中学生231人）
小中学校の学校保健委員会に対する歯科健康教育	内容	小中学校の学校保健委員会において、学校や家庭における歯と口腔の健康づくりに関する取組等の助言等を行う。
	結果	実施校数：2校（うち小学校1校、中学校1校）
歯科健康相談	内容	小中学生や保護者に対して、歯科健康相談を実施す

		る。
	結果	・実施回数：４回 ・相談者数：７人
歯科健診	内容	就学時歯科健診及び学校歯科健診を実施する。
	結果	実施校数：１３８校
フッ化物洗口事業	内容	むし歯予防のため、小学校で週１回法によるフッ化物洗口を実施する。
	結果	実施校数：８３校

※ 令和４年度決算額

小学校等フッ化物洗口事業 ９，９４５千円

学校歯科医報酬 ３２，０６０千円

イ 令和５年度の実施内容

令和４年度の実施事業を令和５年度も継続して実施する。

※ 令和５年度予算額

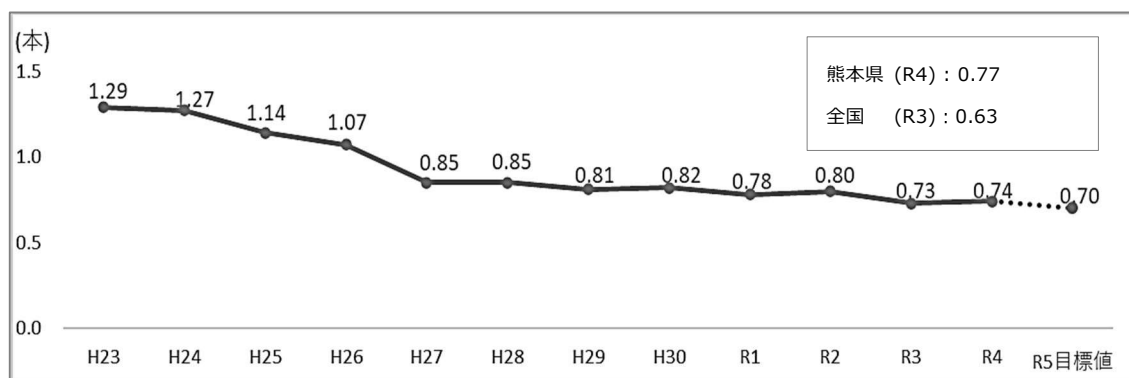
小学校等フッ化物洗口事業 １８，１２４千円

学校歯科医報酬 ３１，０６７千円

ウ 成果指標

１２歳児でのむし歯のない者の増加（１人当たりむし歯本数の減少）

平成２３年度 基準値	令和４年度 実績値	令和５年度 目標値
１．２９本	０．７４本	０．７本未満



出典：熊本県歯科保健状況調査

(3) 成人期

ア 令和４年度の実施結果等

社会生活を送る上で、歯と口腔の健康づくりが重要であることを知り、自分
にあった口腔ケアを獲得できるように支援するため、主に次の取組を実施した。

取組名	取組内容及び取組結果等	
歯たちの健診	内容	生活習慣が不規則になる時期でもある大学生等を対象に、歯科疾患の予防と口腔衛生意識の向上を目指し、学園祭や区役所実習の学生に対して歯科健診や歯科健康相談を実施する。
	結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため学園祭での実施は中止した。 区役所での実施：１２人
歯周病検診	内容	歯の喪失をもたらす歯周病を予防し、かかりつけ歯科医における定期的な歯科健診を推進するため、歯周病検診の受診に対する支援を実施する。
	結果	受診者数：５０５人（うち４０歳４６６人、５０歳１２人、６０歳２２人、７０歳５人）
歯科健康教育	内容	生活習慣病予防教室において、糖尿病等と歯科疾患との関連について歯科健康教育等を実施する。また、歯科健康教室において、歯科疾患の予防等についての講話や口腔ケアの啓発等を実施する。
	結果	・実施回数：２８回（うち生活習慣病予防教室２回、歯科健康教室２６回） ・参加者数：３９６人（うち生活習慣病予防教室２８人、歯科健康教室３６８人）
歯科健康相談	内容	定期歯科健診を推進するため、歯科健康相談を実施する。
	結果	・実施回数：２３回 ・相談者数：１８０人
健康ポイント事業	内容	スマートフォン専用アプリ「もっと健康！げんき！アップ くまもと」において、歯科健診時に健康ポイントを付与することにより、定期的な歯科健診を推進する。
	結果	ポイント獲得者数：延べ４，９１１人

※ 令和４年度決算額

歯周病検診経費 １，６４１千円

イ 令和５年度の取組内容

令和４年度の取組事業を令和５年度も継続して実施する。

令和５年度は節目年齢歯科検診の全対象者に個別勧奨通知を送付する。

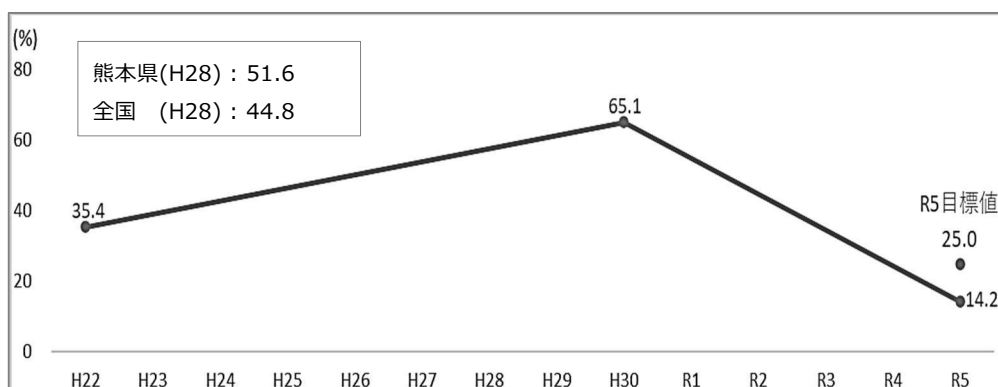
※ 令和５年度予算額

節目年齢歯科健診（旧：歯周病検診） ６，８００千円

ウ 成果指標

４０歳代における進行した歯周炎を有する者の減少

平成２２年度 基準値	令和５年度 実績値	令和５年度 目標値
３５．４％	１４．２％	２５．０％



出典：【熊本市】H22、H30データ：成人歯科健診

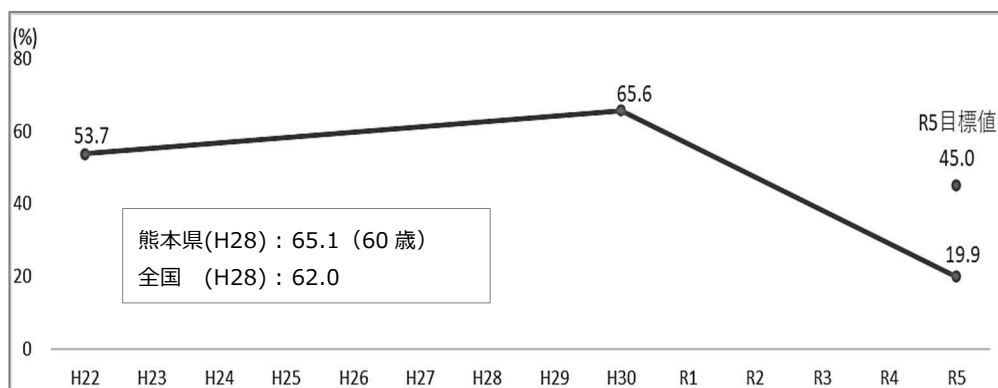
R5データ：R4歯周病検診、R5成人歯科実態調査

【熊本県】熊本県歯科保健実態調査

【全国】歯科疾患実態調査

60歳代における進行した歯周炎を有する者の減少

平成22年度 基準値	令和5年度 実績値	令和5年度 目標値
53.7%	19.9%	45.0%



出典：【熊本市】H22、H30データ：成人歯科健診
R5データ：R4歯周病検診、R5成人歯科実態調査
【熊本県】熊本県歯科保健実態調査
【全国】歯科疾患実態調査

(4) 高齢期

ア 令和4年度の実施結果等

歯の喪失等による口腔機能の低下を防止し、「食えること」を通じて積極的に社会活動ができるように支援するため、主に次の取組を実施した。

取組名	取組内容及び取組結果等	
8020表彰	内容	満80歳以上で自分の歯を20本以上有する市民を表彰するため事前審査を行い、達成者には表彰状を郵送する。
	結果	表彰者数：54人
歯科健康教育	内容	地域において高齢者を対象に、口腔機能向上や口腔ケアの必要性に関する歯科健康教育を実施する。
	結果	・実施回数：32回 ・参加者数：612人
歯科健康相談	内容	高齢者を対象に、口腔機能向上や口腔ケアについての歯科健康相談を実施する。
	結果	・実施回数：25回 ・相談者数：113人
後期高齢者歯	内容	後期高齢者の口腔機能の改善を図り、生活習慣病、誤

科口腔健康診 査		えん 嚥性肺炎等の疾患を予防するため、歯科口腔健康診査 を実施する。 ※ 受診対象年齢：75歳以上
	結果	受診者数：981人（令和5年5月末日暫定値）
短期集中予防 サービス（口 腔機能向上プ ログラム）	内容	口腔機能向上や改善を目的としたプログラムを実施 する。 ※ 事業対象者：要支援1又は要支援2の認定を受け ている者及び本サービスを利用することにより機 能の維持・改善が見込まれる65歳以上の者
	結果	・実施事業所数：5事業所 ・利用者数：39人 ・実施回数：66回
介護予防の啓 発	内容	高齢者の通いの場（サロン）等において、オーラルフ レイルを含めたフレイル状態の把握及び予防に関す る講話を実施する。
	結果	・実施回数：44回 ・参加者数：延べ541人

※ 令和4年度決算額

後期高齢者歯科口腔健康診査 5,089千円

短期集中予防サービス（口腔機能向上プログラム）事業費 248千円

イ 令和5年度の実施内容

令和4年度の実施事業を令和5年度も継続して実施する。

※ 令和5年度予算額

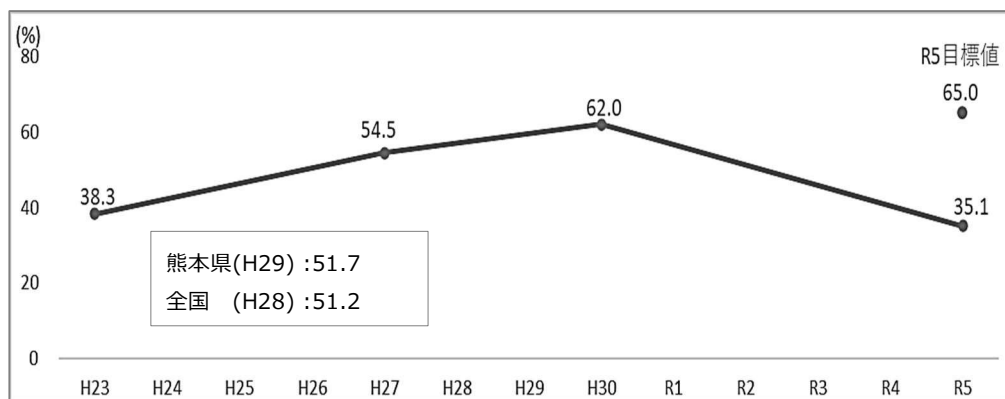
後期高齢者歯科口腔健康診査 6,918千円

短期集中予防サービス（口腔機能向上プログラム）事業費 575千円

ウ 成果指標

80歳で20歯以上の自分の歯を有する者（8020達成）の増加

平成23年度 基準値	令和5年度 実績値	令和5年度 目標値
38.3%	35.1%	65.0%



出典：【熊本市】健康くまもと21市民アンケート
【熊本県】熊本県健康・食生活に関する調査
【全国】歯科疾患実態調査

2 歯と口腔の健康づくりを支え・守るための環境づくり

(1) 令和4年度の実施結果等

校区単位の健康まちづくりの中で歯科保健の活動を推進し、8020推進員を育成・支援するとともに、障がい者等の歯科診療の環境づくりを支援するため、主に次の取組を実施した。

取組名	取組内容及び取組結果等	
8020推進員育成事業	内容	8020推進員育成講座を実施し、8020推進員を育成する。
	結果	修了者数：78人
8020推進員活動支援	内容	8020推進員に口腔ケアや歯科疾患予防のアドバイス等を行い、地域での歯と口腔の健康づくり啓発活動の支援を実施する。
	結果	・実施回数：520回 ・参加者数：2,267人
歯と口の健康週間	内容	毎年6月の「歯と口の健康週間」において、地域住民を対象に歯科保健に関する啓発等を実施する。
	結果	・実施回数：79回 ・参加者数：3,282人
校区単位の健康まちづくりや地域のイベント等での啓発事業	内容	校区単位の健康まちづくりイベントや地域のイベント等において、歯科健康相談等を実施し、歯科保健に関する啓発を実施する。
	結果	・実施回数：19回 ・参加者数：4,553人
障がい児及び発達に不安のある児のむし歯予防事業	内容	未就学児のうち身体障害者手帳、療育手帳又は歯の健康ノートを保有するものを対象として、口腔ケア、フッ化物塗布及び口腔衛生指導を実施する。
	結果	・実施回数：22回 ・受診者数：延べ50人
障がい児（者）口腔ケア地域リーダー育成事業	内容	障がい児（者）が身近な地域で歯科診療を受けることができるよう、地域の歯科医師及び歯科衛生士の診療の知識等の習得を図る事業を実施する。
	結果	・参加者数：60人
歯科救急医療対策	内容	休日歯科当番医制度により、いつでも安心して適切な歯科診療を受けることができる救急医療体制づくりを実施する。

	結果	通常初期救急体制として、休日の準夜間において歯科診療を実施した。 ・診療件数：１１５件 年末年始初期救急体制として、２４時間の歯科診療を実施した。 ・診療件数：２９０件
適切な医療体制の確立	内容	障がい児（者）の歯科診療体制の強化のため、熊本県歯科医師会口腔保健センターが実施する事業に対する県の補助金の一部を負担する。
	結果	熊本県歯科医師会口腔保健センターにおいて、週３日、障がい児（者）に対する歯科医療を提供した。 ・診療日数：１４２日 ・診療件数：２，５９４件
災害時の口腔ケアの啓発	内容	災害時の口腔ケアの啓発を、地域のイベントを通して実施する。
	結果	・実施回数：１４回 ・参加者数：３０２人 ※ 熊本市民健康フェスティバルにおける啓発は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。
地域歯科保健研修会	内容	関係機関・団体と行政が、歯と口腔の健康に関する現状や課題等について共有し、課題解決に向けた取組について理解を深める機会とするため、研修会を開催する。
	結果	・参加者数：１０４人

※ 令和４年度決算額

歯科保健推進経費 ９８６千円

歯科保健推進事業実施団体に対する補助金 ９１７千円

休日歯科当番医制事業 １，２７８千円

年末年始急患歯科診療事業 １，２９４千円

熊本県歯科医師会口腔保健センター負担金 ２，０００千円

口腔保健センター機器更新 ８，７５０千円

障がい児（者）口腔ケア地域リーダー育成事業 ２９６千円

(2) 令和５年度取組内容

令和４年度取組事業を令和５年度も継続して実施する。

※ 令和５年度予算額

歯科保健推進経費 939千円

健康くまもと21推進会議 3,031千円

歯科保健推進事業実施団体に対する補助金 917千円

休日歯科当番医制事業 1,341千円

年末年始急患歯科診療事業 1,294千円

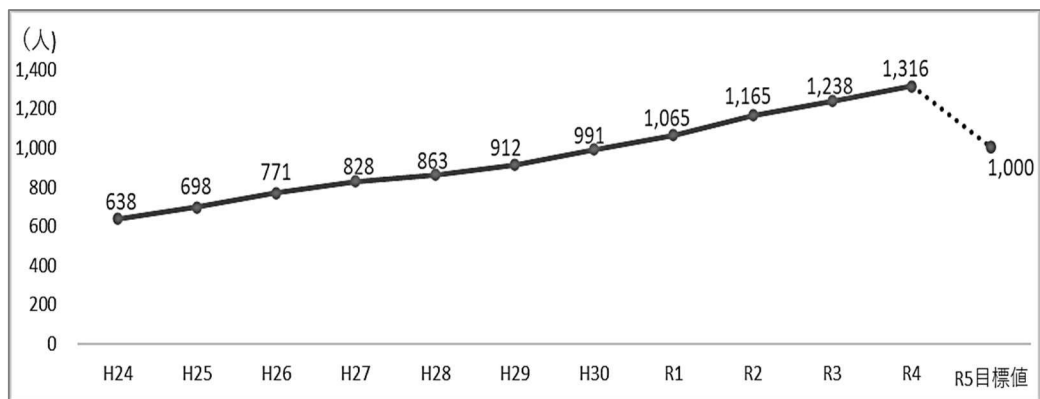
熊本県歯科医師会口腔保健センター負担金 2,000千円

障がい児（者）口腔ケア地域リーダー育成事業 300千円

(3) 成果指標

8020推進員の育成数の増加（累計）

平成24年度 基準値	令和4年度 実績値	令和5年度 目標値
638人	1,316人	1,000人 (令和元年度達成済み)



出典：【熊本市】8020推進員育成事業